

平年より早い梅雨入りとなりました。当然ながら雨の中での登下校が増えています。校門で子どもたちの登校を迎えると、雨が強い日には傘で防ぎきれないズボンや靴がびしょり濡れています。長靴ではないと、雨水が靴下までしみ込んでいることもままあります。学校では、裸足でシューズを履くか、または、濡れた状態を我慢するかだと思います。

雨がひどく降っている日は、替えの靴下とタオルをビニール袋に詰め、ランドセルに入れて送り出していただけると不快感はかなり軽減されるでしょう。朝の忙しい時間の中ですが、ご配慮ください。



さて、梅雨の間は、大雨が降ったり、川が増水したりする危険性が高まります。

そこで、警戒レベルや発表される気象情報・避難情報、とるべき行動をふまえて、学校の対応の原則をまとめました。今後の参考にしてください。(昨年度発行学校だより第9号の一部を改訂し再掲載)

大雨による警報等発令時の対応について

※避難情報は、「土井首地区」の発令の有無を確認ください。

警戒レベル	土砂災害の情報 (気象台発表)	避難情報 (長崎市発表)	とるべき行動	学校の対応
レベル5	大雨特別警報	緊急安全確保	何かしらの災害が起きている。 命を守る最善の方法をとる。	<前日に発令(予想されるを含む)> ・長崎市教委が判断 ⇒市内小中学校一斉臨時休業 <登校後に発令> ・学校待機
レベル4	土砂災害警戒情報	避難指示	速やかに避難する	<登校前—6:30時点で発令> ・発令解除の見込みなし⇒臨時休業 ・発令解除の見込みあり⇒自宅待機 <登校後に発令> 下校時刻の状況に応じて対応 ・学校待機 ・職員引率による集団下校 ・保護者のお迎えによる引き渡し
レベル3	大雨警報 洪水警報	高齢者等避難	高齢者等は速やかに避難する。 高齢者等以外の方は、普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたりする。 状況に応じて、自主的に避難する。	<登校前—6:30時点で発令> ・レベル4に上がる見込みなし ⇒通常登校 ・レベル4に上がる見込みあり ⇒自宅待機、または臨時休業 <登校後に発令> 雨の降り方や気象情報に留意し判断 ・通常授業、または早めの下校

※対応の連絡は、「レベル5:文書とメール」、「レベル4:メール」、「レベル3:通常登校、通常授業以外の対応となったときにメール」で行います。

※大雨注意報はレベル2、早期注意情報はレベル1となります。(学校の対応は、通常登校・通常授業)

※台風接近時の大雨警報は、対応が変わります。